

スズキ、富士山朝霧 Biomass へ出資

—循環型社会の形成に貢献—



スズキ株式会社(以下、スズキ)は、合同会社富士山朝霧 Biomass(本店:静岡県富士宮市、以下「富士山朝霧 Biomass」)へ出資しました。

富士山朝霧 Biomass は 2021 年に設立され、朝霧バイオマス発電所を所有しています。朝霧バイオマス発電所は 2022 年度内の稼働・売電開始を目指しています。

富士山朝霧 Biomass は、地元の酪農家や農家から回収した牛ふんを発酵させて精製したバイオガスを燃料として朝霧バイオマス発電所で発電を行います。その電力は地元の電力会社を通じて地域へ供給されます。発酵の過程で生じる残渣(消化液)は有機肥料として販売します。

スズキは、富士山朝霧 Biomass への出資を通じて、地域の資源(牛ふん)を使って電気や有機肥料を生み出すことで地域の活性化に貢献していきます。また、富士山朝霧 Biomass から得られる知見や経験を、インドでのバイオガス実証事業にも活かしていきます。

スズキは、富士山朝霧 Biomass やインドのバイオガス実証事業を通じて、循環型社会の形成に貢献してまいります。

■ 合同会社 富士山朝霧 Biomass 概要

所在地:静岡県富士宮市根原 115-1

出資者:株式会社土谷特殊農機具製作所(代表社員、北海道帯広市)

MIRARTH ホールディングス株式会社(東京都千代田区)